| 2020年度　日本工学院八王子専門学校 | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| プロダクトデザイン科 | | | | | | | | | | | |
| 家具デザイン実習1 | | | | | | | | | | | |
| 対象 | 2年次 | 開講期 | 前期 | 区分 | 選 | 種別 | 実習 | 時間数 | 60 | 単位 | 2 |
| 担当教員 | 伊藤洋平 | | | 実務経験 | 有 | 職種 | 家具作家 | | | | |

授業概要

家具、照明などに関するデザインの知識と技術を学び、作品を制作する。目的と用途に応じて求められている情報を整理した上で制作プロセスにおいて、教員、学生間でコミュニケーションをとりながら魅力的な造形物として表現し、クライアントに対して明確に説明伝達するスキルを習得する。

到達目標

簡単な構造理解から人間の体重を支える構造まで発展させ、単純に見た目の美しさ・ユニークさだけの家具デザインではなく、本質的な設計感覚を習得する事を目標とする。本授業は2年次後期以降の立体デザイン（主に家具デザイン）を行う上での技術知識を習得することを目標にする。

授業方法

プロダクトデザインのなかで家具デザインの意味や位置づけ、考え方などを学ぶ。見かけのカタチだけにとらわれず、構造や組み立て方などの家具デザインの本質を考える授業を展開する。各種要求項目、および設計条件を割り出し、それに則ったイメージづくりからアイディア展開、モデル化、の流れを経験し、スケッチワークやモデリングワークにおける造形表現手法を学習する。

成績評価方法

課題完成度40%　提出課題の完成度を評価する。
リサーチ20%　制作準備と過程を評価する。
相談検証20%　制作過程で適切なディレクション受答ができたか評価する。
プレゼン20%　制作物の発表方法、内容について評価する。

履修上の注意

工具・機具を使用した模型製作時怪我をしないよう注意して進める。スケジュールに則り、プレゼンテーションに遅れの出ないように学生自身がマネジメントして進める。制作内容により作業着、作業用具、各種材料が必要になる。やむを得ず欠席した場合、すぐに担当教員か補助員に相談し授業の流れに遅れないよう注意すること。授業時限数の3/4以上出席しない者、未提出課題がある者は不合格とする。

教科書教材

参考作品・参考資料等は、授業中に配布、掲示する。

| 回数 | 授業計画 |
|---|---|
| 第１回 | ガイダンス |
| 第２回 | 【講義】素材・デザイナーズチェア |
| 第３回 | 模型をつくる道具、素材の扱い方 |

| 2020年度　日本工学院八王子専門学校 | |
|---|---|
| プロダクトデザイン科 | |
| 家具デザイン実習1 | |
| 第４回 | 【デザイナー椅子縮小モデル】1 |
| 第５回 | 【デザイナー椅子縮小モデル】2 |
| 第６回 | 【デザイナー椅子縮小モデル】3 |
| 第７回 | 【デザイナー椅子縮小モデル】4 |
| 第８回 | 【オリジナル家具】１ |
| 第９回 | 【オリジナル家具】２ |
| 第１０回 | 【オリジナル家具】３ |
| 第１１回 | 【オリジナル家具】４ |
| 第１２回 | 【オリジナル家具】５ |
| 第１３回 | 【オリジナル家具】６ |
| 第１４回 | 【オリジナル家具】７ |
| 第１５回 | 【オリジナル家具】８　プレゼンテーション |